

中国のアフリカ豚コレラの流行状況は総合的に見て制御可能
(新華社通信 12月4日公開)

農業農村部 2018年12月6日 8:23 公開

http://www.moa.gov.cn/ztl/fzzwfk/gzdt/201812/t20181206_6164433.htm

新華社通信 12月4日公開

3日までに全国21省において、豚で79件、いのししで2件アフリカ豚コレラが発生している。今のところ、発生箇所は多点的であり、大規模な発生は起こっていない。

これは、12月4日に開かれたアフリカ豚コレラの防疫に係る中国人民政治協商会議で記者が得た情報である。農村部の於康震副局長は会議でアフリカ豚コレラの状況を伝え、中国人民政治諮問会議全国委員からの質問に答えた。

於康震は、農業農村部は、アフリカ豚コレラの監視・調査を包括的に実施し、想定される感染経路を遮断し、市場への供給を確保することに焦点を合わせていると言う。全国で計631,000頭の豚が殺処分され、アフリカ豚コレラの発生には、全て有効に対処した。繁殖、交易、屠殺など、あらゆるポイントにおいてサーベイランスとモニタリングを展開している。また、アフリカ豚コレラの発生省および発生省と隣接する省から豚を搬出することを禁止し、生きた豚の取引市場の閉鎖、豚の運搬車の記録の実施、残飯給餌を禁止している。アフリカ豚コレラの広がり効果的に抑制されており、8省35の疫区が、規定に基づき、封鎖解除されている。

於康震は、「アフリカ豚コレラは人畜共通感染症ではないため、人に感染することはなく、豚やいのしし以外の動物に感染することはない。しかし、ウイルスが中国に定着すれば、養豚産業の発展を脅かすだろう。」と述べた。

今年のアフリカ豚コレラの流行は、世界的にも活発になっており、ロシア、ルーマニア、ポーランドなど22カ国で合計5,800件以上の流行が報告されている。

張興凱委員は、「アフリカ豚コレラの情報を適時に公開し、民衆へ客観的に説明し、誤解を解くべきである」と述べた。

岳秉飛委員は、「中国における豚の飼養方法は、未だに後進的であり、放し飼いをしている農家のバイオセーフティ意識は低く、これがリスクを増加させている。次のステップでは、標準化された飼養方式を促進し、養豚産業の発展を図る必要がある」と述べた。